

第5回 植物防疫検討会

検疫有害動植物及び輸入植物検疫措置の見直しについて

令和6年2月20日

消費・安全局 植物防疫課

農林水産省

目次

- I. 背景等
- II. 検疫有害動植物及び非検疫有害動植物の見直し
- III. 施行規則別表 1 の 2 に掲げる対象地域及び対象植物の見直し
- IV. 施行規則別表 2 に掲げる対象地域及び対象植物の見直し
- V. 施行規則別表 2 の 2 に掲げる対象地域及び対象植物の見直し
- VI. 施行規則別表 2 及び 2 の 2 に掲げる対象植物の範囲の見直し
- VII. 今後のスケジュール案

I. 背景等

我が国の検疫有害動植物

検疫有害動植物（植物防疫法施行規則別表 1）

- まん延した場合に有用な植物に損害を与えるおそれがあることが明らかである有害動植物

病虫害リスク分析（PRA）結果に基づき、原則、種の単位で規定
(現在1,023種)

暫定検疫有害動植物（農林水産省告示第542号）

- まん延した場合に有用な植物に損害を与えるおそれがないことが確認されていない有害動植物

PRAが未了の有害動植物として、科、属等の単位で規定

非検疫有害動植物（農林水産省告示第542号）

- まん延した場合に有用な植物に損害を与えるおそれがないことが確認されていない有害動植物から除かれる有害動植物

PRA結果に基づき、属又は種の単位で規定（現在518種及び5属）

地域及び植物を特定した植物検疫措置

施行規則別表 1 の 2 (対象病害虫14種)

- ・ 輸入に当たって、輸出国において精密検定、栽培地検査等の植物検疫措置の実施が必要な地域、植物等、基準（対象病害虫と措置の内容）を規定
- ・ 対象病害虫の「我が国に侵入・定着・まん延した場合の農業生産等への影響」は中程度と評価

施行規則別表 2 (対象病害虫23種)

- ・ 輸入に当たって、輸出国との二国間協議により、対象地域及び対象植物の組合せ毎に設定した殺虫殺菌処理、無発生地域等の設定等の植物検疫措置の実施が必要な地域、植物、備考（対象病害虫）を規定
- ・ 二国間で特別な措置が合意されていない植物の輸入は禁止

施行規則別表 2 の 2 (対象病害虫41種)

- ・ 輸入に当たって、輸出国において精密検定、栽培地検査等の植物検疫措置の実施が必要な地域、植物、基準（対象病害虫と措置の内容）を規定
- ・ 対象病害虫の「我が国に侵入・定着・まん延した場合の農業生産等への影響」は高いと評価
- ・ 基準を満たしていない植物の輸入は禁止

植物防疫法第6条
(輸入の制限)

植物防疫法第7条
(輸入の禁止)

科学的知見に基づく検疫措置の見直し

- 過去のPRAにより植物検疫措置を決定した検疫有害動植物であっても、病害虫の発生地域や寄主/宿主植物は変化する場合がある。
- このため、国内外における病害虫の発生情報、病害虫の生態等に係る新たな知見等の情報を収集。
- 新たに得られた情報を分析し、リスクに応じた輸入検疫措置を講じるため、見直しを実施。

Ⅱ． 検疫有害動植物及び非検疫有害動植物の見直し

非検疫有害動植物の判断手順

検討の対象となる有害動植物について、PRAを実施。



- 国内既発生であり、法律に位置付けた駆除、まん延防止の措置がとられていない
- 国内未発生の系統が存在する情報がない
- 国内未発生の病害虫のベクターとなるとの情報がない



これらを満たす有害動植物は、植物防疫法及びISPM 11で定める検疫有害動植物の要件を満たさないことから、検疫有害動植物には該当しないと判断。

Blueberry mosaic virus

（一般名：*Blueberry mosaic associated ophiovirus*（ブルーベリーモザイク随伴ウイルス））

【宿主植物】

ハイブッシュ・ブルーベリー（*Vaccinium corymbosum*）及び*V. pallidum*

【発生地域】

日本、トルコ、スロベニア、セルビア、ドイツ、ポーランド、アメリカ合衆国、カナダ



葉の症状

（出典：EPPO GlobalDataBase (2024)
Ophiovirus vaccinii [<https://gd.eppo.int/>]

【症状・被害】

葉に明瞭なもしくは軽度の黄色から黄緑色のモットル又はモザイク症状を示し、時折ピンクから赤色を呈する。また、果実の成熟が遅延し、品質が低下する。



施行規則別表1から削除し、非検疫有害動植物に指定

● 非検疫有害植物に19種を追加

菌類（5種）

- *Alternaria radicina*（ニンジン黒斑病菌）
- *Fusarium oxysporum* f.sp. *lycopersici*（トマト萎ちょう病菌）
- *Fusarium oxysporum* f.sp. *melonis*（メロン類つる割病菌）
- *Fusarium oxysporum* f.sp. *radicis-lycopersici*（トマト根腐萎ちょう病菌）
- *Fusarium solani* f.sp. *cucurbitae*（カボチャ立枯病菌）

ウイルス（11種）

- *Apple chlorotic leaf spot virus*（リンゴクロロティックリーフスポットウイルス）
- *Apple stem grooving virus*（リンゴステムグルービングウイルス）
- *Apple stem pitting virus*（リンゴステムピットティングウイルス）
- *Blueberry mosaic associated ophiovirus*（ブルーベリーモザイク随伴ウイルス）
（施行規則別表1ではBlueberry mosaic virusと掲載）
- *Blueberry red ringspot virus*（ブルーベリー赤色輪点ウイルス）
- *Cherry virus A*（チェリーAウイルス）
- *Grapevine leafroll-associated virus 1*（ブドウ葉巻随伴ウイルス1）
- *Grapevine leafroll-associated virus 3*（ブドウ葉巻随伴ウイルス3）
- *Grapevine virus A*（ブドウAウイルス）
- *Plum bark necrosis stem pitting-associated virus*
（スモモ樹皮えそステムピットティング随伴ウイルス）
- *Prunus necrotic ringspot virus*（プルヌスえそ輪点ウイルス）

ウィロイド（3種）

- *Apple scar skin viroid*（リンゴさび果ウィロイド）
- *Citrus exocortis viroid*（カンキツエクソコーティスウィロイド）
- *Pear blister canker viroid*（ナシブリスタキャンカーウィロイド）

● 既存の非検疫有害植物 4 種の和名を変更

新たな和名が日本植物病理学会植物ウイルス分類委員会で承認されたことに伴う変更

Lily virus X : リリーウイルスエックス → ユリXウイルス

Narcissus degeneration virus :

ナルキッサスディジェネレーションウイルス → スイセン退緑ウイルス

Narcissus late season yellows virus :

ナルキッサスレイトシーズンイエロウズウイルス→スイセン晩期黄化ウイルス

Odontoglossum ringspot virus :

オドントグロッサムリングスポットウイルス→オドントグロッサム輪点ウイルス

III. 施行規則別表 1 の 2 に掲げる 対象地域及び対象植物の見直し

Fusarium oxysporum f. sp. *pisi* (エンドウ萎ちょう病菌)

【対象植物（現行）】

えんどうの種子であって栽培の用に供するもの



葉の黄化（左）、道管の変色（右）
(出典：植物防疫所)

【症状・被害】

葉が黄化、葉巻を起こし、萎凋・枯死を引き起こす。

【植物検疫措置】

栽培地検査

Fusarium oxysporum f. sp. *pisi*

(エンドウ萎ちょう病菌)

【改正内容】

- ・ 対象地域の追加 ※それぞれえんどうで確認

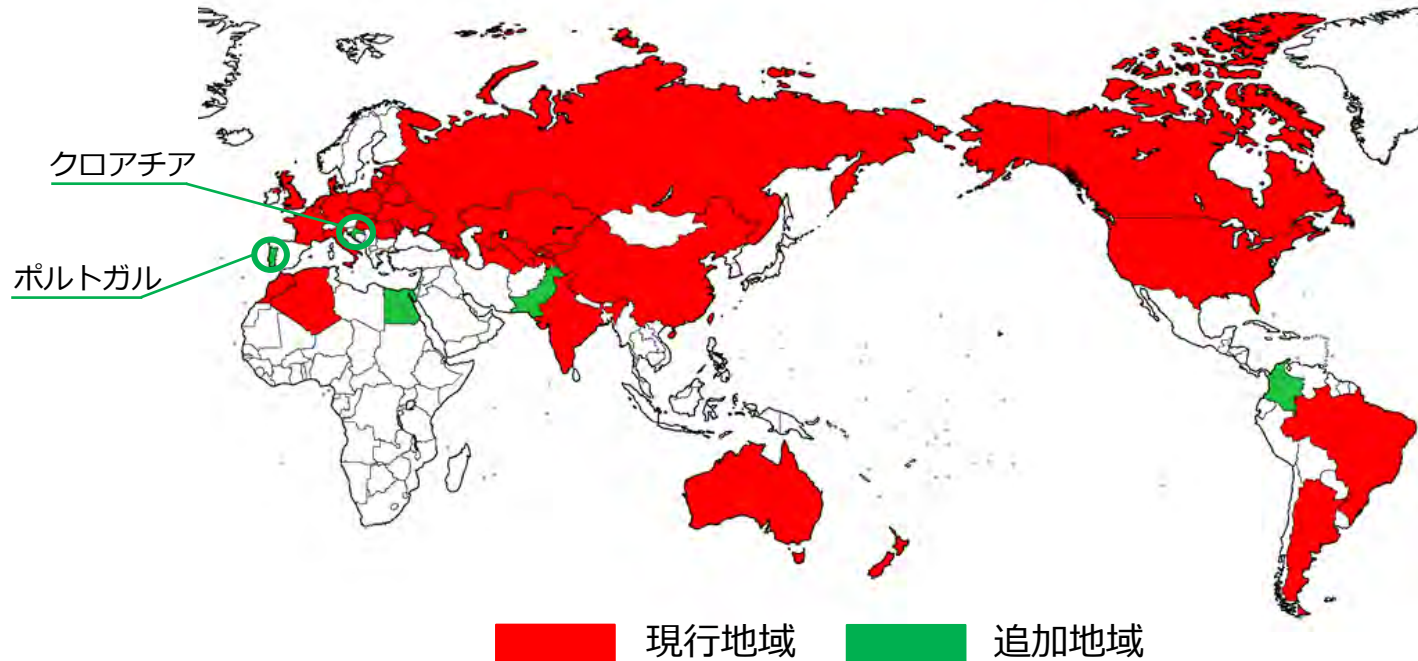
パキスタン ... (Aslam et al., 2019等)

クロアチア ... (Ivić et al., 2009等)

ポルトガル ... (Bani et al., 2014等)

エジプト ... (El-Sharkawy et al., 2022等)

コロンビア ... (Osorio and Castaño, 2011等)



IV. 施行規則別表 2 に掲げる 対象地域及び対象植物の見直し

Mayetiola destructor (ヘシアンバエ)

【対象植物（現行）】

おおむぎ属植物、こむぎ属植物及びらいむぎ属植物の茎葉（つと、こもその他これらに準ずる加工品を含む。）並びにかもしぐさ属植物の茎葉



成虫 （出典：植物防疫所）



■ 現行地域

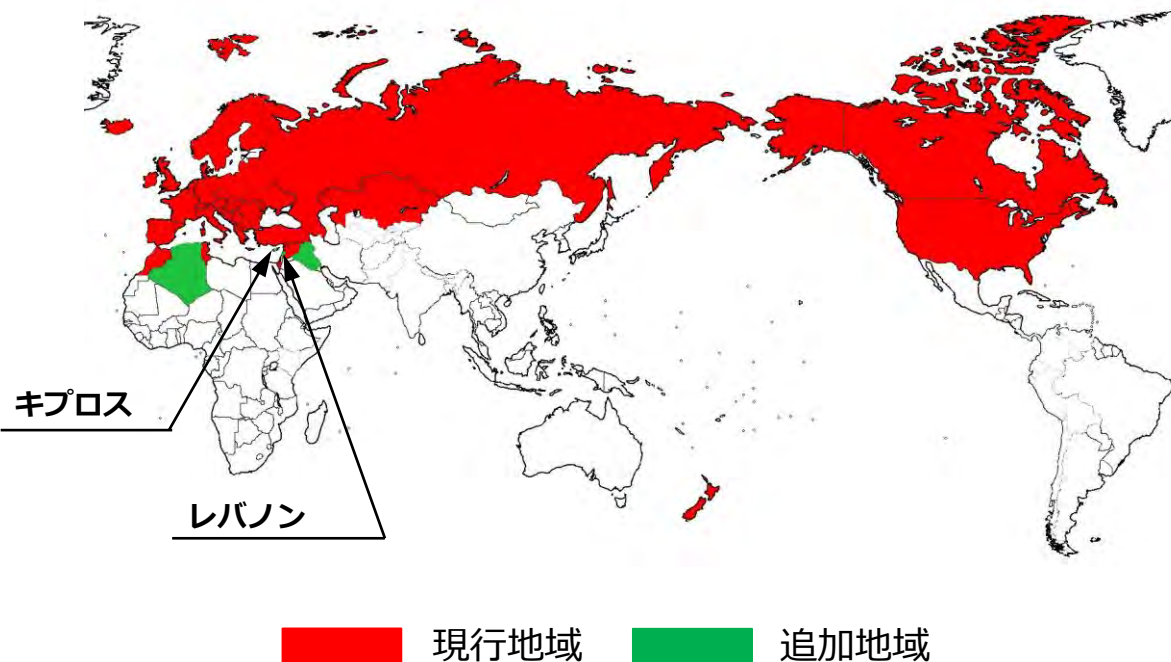
【症状・被害】

幼虫が茎葉を吸汁加害する。生育初期の加害では、茎の黄化や枯死が生じる場合がある。生育が進んだ後の加害では、茎が衰弱し、寄生が激しければ、茎が折れたり、穂が白く枯れた状態となり、深刻な収量低下を引き起こす。

Mayetiola destructor (ヘシアンバエ)

【改正内容】

- 対象植物の追加
らいこむぎ属植物・・・アメリカ合衆国で確認 (Buntin and Bruckner, 1990 等)



- 対象地域の追加
イラク...発生記録あり
(Berzonsky et al., 2005 等)
レバノン...発生記録あり
(Berzonsky et al., 2005)
キプロス...発生記録あり
(Berzonsky et al., 2005 等)
アルジェリア...発生記録あり
(Djebara et al., 2018 等)

Erwinia amylovora (火傷病菌)

【対象植物（現行）】

なし属植物、りんご属植物等の生植物（種子を除き、生果実、花及び花粉を含む。）



■ 現行地域



せいようなし新梢の枝枯れ症状
(出典：植物防疫所)

【症状・被害】

感染樹は火にあぶられたような症状を示し、木全体が枯死する。

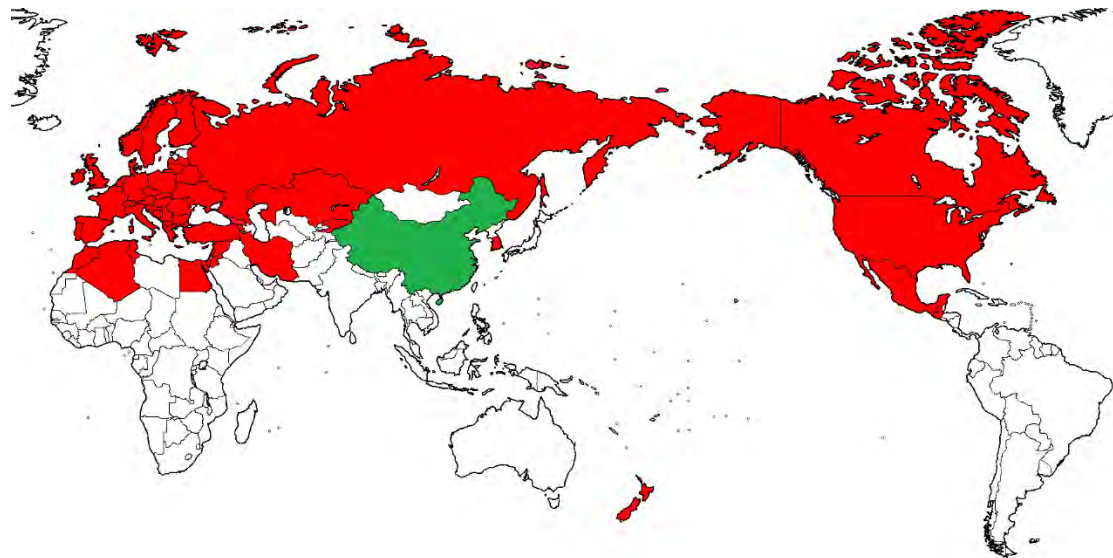
Erwinia amylovora (火傷病菌)

【改正内容】

- 対象地域の追加

中華人民共和国 ... なし属の一種 (*Pyrus sinkiangensis*) で確認

(中華人民共和国農業農村部, 2021, 2022, 2023; Fei et al., 2023)



現行地域



追加地域